

# 第48回全日本歯科学生総合 体育大会（オールデンタル） 生命歯学部ラグビー部 初優勝！！



昨年末、2年振りに4度目の決勝戦進出が決まった。優勝を目指している我ら生命歯学部ラグビー部員は勝利の喜びよりも、2年振りに決勝戦の舞台にたどり着いた安堵感の方が強かった。なぜならば、春に開催されたメディカルセブンスでは初の決勝進出も浮足立ってしまい1トライ差で負け準優勝の悔し涙。医歯薬リーグでは1部2敗3棄権。2部との入れ替え戦は引き分けで1部残留という悔し涙のシーズンであったからです。

ここ数年のラグビー部の躍進は、現幹部である5年生が1年生の時に幹部であった先輩達が医歯薬リーグ戦において4部で低迷していたラグビー部の復活に本気で取り組み、2010年度の4部優勝・3部昇格を皮切りに、3部優勝と2部昇格と一段一段上がっていき築きあげた結果であることを知っている最後の学年。それを受け継ぎ、一昨年、2部準優勝を果たし26年ぶりにリーグ戦1部に昇格しました。デンタルでも、2010～2012年度準優勝、2013年度棄権、2014年度3位という成績で、優

勝にはあと一步届かず悔しい思いをしていました。

決勝戦前のロッカールーム。擦り傷は当たり前、足を引きずっているものもいる。皆、テーピングやサポーターをしている。そのような状態の中でも高嶋主将以下、現役部員の顔は再び辿り着いた決勝戦に挑む気合に満ち溢れており、優勝できる!!!と確信しました。

遂にデンタル決勝戦の試合開始のホイッスルが鳴った。開始早々、トライを取りチームが盛り上がる。その後もトライを重ねて17-7で前半を終え後半へ。後半も日本歯科大学ベースで試合が進みトライを重ね、29-7で残り2分。そこからの試合は、成長した現役部員ひとりひとりのプレーを見ながらこみ上げてくるものがありました。試合終了のホイッスルが鳴り、歓喜に沸く現役部員。拳を握り喜び、涙をこらえることが出来なかった自分。試合後の彼らの喜びと達成感に満ち溢れた顔は最高でした。100kgの巨体である自分を胴上げしてくれた喜びも忘れることはありません。現役部員諸君に

感謝の気持ちでいっぱいです。そして、いつも応援してくださるご父兄、大学関係者の方々にも感謝しております。

国家試験合格率も大事ですが、大学は勉強だけを教える予備校ではなく、医療従事者になる学生達が、礼節をはじめとする人間関係などの社会性を学ぶ場でもあると考えております。本学には、多くの素晴らしい部活があり、昨年度は硬式野球部、バスケットボール部、アメリカンフットボール部が優勝と素晴らしい成績を残しております。他にも多くのクラブがあり、そこで学んだ縦社会や「同じ釜の飯」を食べた同世代の仲間は勿論ですが、先輩、後輩との絆がさらに深まります。この学生時代の経験が卒業後に繋がるわけです。卒業して本学の校友は素晴らしい!!!と感じている自分がいます。

現役の健闘を称えてくださった、中村前OB会長、高松OB会長をはじめとするOB先生方が優勝祝賀会を開催していただくことになり、4月2日（土）にホテルメトロポリタンエンドモンドにて盛大に開催されました。優勝祝賀会には、ご来賓に羽村 章 生命歯学部長、西村正美校友会副会長をお迎えいたしました。お忙しい中でのご出席とお祝辞、ありがとうございました。また、多くのラグビー部OBが集まり現役との交流を深める中で優勝祝賀会は、2軒目、3軒目と盛り上がりを見せて絆と夜が深まってきました。

監督となり10年目を迎えます。毎年優勝祝賀会ができるのが嬉しいです。  
（奥山宜明・89回記）

